



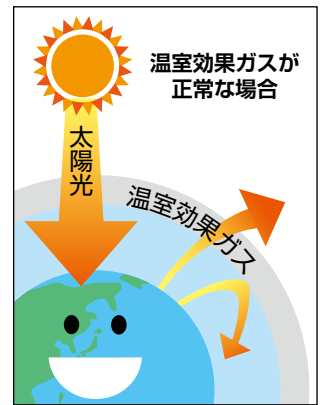
CO₂を実質ゼロに！ ゼロカーボンへの挑戦

問い合わせ／環境課計画担当(内線3120)

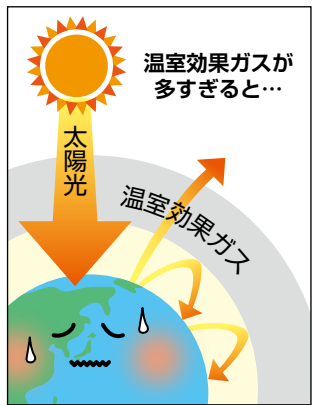
本市は、令和3年10月1日に「鴻巣市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、国が定義した2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指しています。
このコーナーでは、ゼロカーボン(脱炭素社会)に向けた取組などを紹介します。

今回のテーマは 地球温暖化ってなあに？ です。

第1回は「地球温暖化」について説明します。
地球温暖化とは、増えすぎた温室効果ガスの影響で、地球の表面の熱が宇宙に逃げにくくなり、気温がだんだんと上がってしまうことをいいます。
温室効果ガスは、地球のまわりを温室のビニールのように取り囲み、太陽からの熱を宇宙に逃がさないようにし、地球を暮らしやすい温度に保っています。
私たちの生活に欠かせない電気や自動車などを利用すると、二酸化炭素などの温室効果ガスが発生します。生活が便利になったことで、この温室効果ガスがどんどん増えて地球の気温が上がり、環境や生活へ影響を及ぼしています。

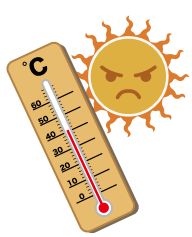


温室効果ガスが正常な場合
太陽光
温室効果ガス
太陽から受け取る熱と逃げる熱のバランスがとれ、暮らしやすい温度をキープできる



温室効果ガスが多すぎると…
太陽光
温室効果ガス
宇宙に逃げる熱が少なくなり、気温が上昇する地球温暖化に

今のままの生活を続けていると、温暖化によるさまざまな影響が



猛暑日や熱帯夜の増加

緑が少なく、ビルや道路が多い都市は、太陽の熱でコンクリートなどが暑くなるため特に気温が上昇します。



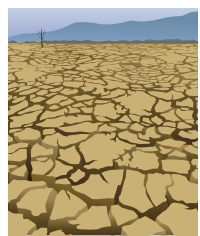
台風の大型化

海水の温度が上がると、エネルギー源である水蒸気の量が増えて台風が大型化し、洪水や土砂災害などの被害が大きくなるおそれがあります。



砂浜がなくなってしまう!?

気温が上がると氷河がとけることや海水温度上昇による体積増加で海面が上昇します。海面が1m上がると、国内の砂浜の多くはなくなってしまうといわれています。



生態系の変化や農作物への被害

動物や植物などは自分にあった環境でないと生きていけません。農業や水産業にも影響が出るため、今まで当たり前に行われていたものが食べられなくなる可能性があります。



人の健康被害や活動の制限

すでに熱中症や光化学スモッグなどの発生状況に影響が出ています。また、病気を引き起こす熱帯の生きものが増え、デング熱*などの伝染病が流行するおそれがあります。
*デング熱：デングウイルスを持った蚊に刺されることで感染する病気



私たちにできるゼロカーボンの取組

地球温暖化は、遠い未来の話でも日本以外の話でもありません。今すぐに対策をしないと、近い将来に影響が出てしまいます。そのために市民の皆さん一人ひとりの意識が大切です。

では、どうしたら私たちが安心して暮らせる地球を守れるのでしょうか・・・

今回は、地球温暖化を止めるための対策「ゼロカーボン」について詳しくお伝えします。お楽しみに！



環境省HPでは、地球温暖化対策による影響・被害の可能性について、天気予報という形式でわかりやすくまとめている動画を配信しています。



モバイルバッテリーなどの小型充電式電池は、 ごみ集積所に出さずに廃乾電池回収ボックスへ 捨てましょう！

問い合わせ／環境課廃棄物・リサイクル担当（内線3128）

モバイルバッテリーや加熱式たばこ、家庭用ゲーム機等の小型充電式電池を内蔵する電子機器等が、誤って「プラスチック製容器包装（資源）類」や「燃やせないごみ」に混入し捨てられるケースが非常に多くなっています。

小型充電式電池には燃えやすい液体が入っており、発火リスクが高く、ごみ収集車やリサイクル施設等での発火トラブルが増加しています。

本市から排出されたごみが原因によるリサイクル施設での小火は、令和3年4月から11月の間に5回も発生しています。

誤った分別は、一歩間違えば、住宅街での火災や爆発などを引き起こし、皆さんの安全にも影響を及ぼす可能性のある非常に危険な行為です。

モバイルバッテリーなどの小型充電式電池等は、各公共施設やスーパー、電気店等に設置の「廃乾電池回収ボックス」へ出してください。

なお、小型充電式電池を取り外せない30cm以下の家電製品等は、資源類の「金属類」で出してください。正しく出された小型充電式電池はベースメタル（銅・アルミ）等によりリサイクルされます。



モバイルバッテリーは
正しく廃棄しないと発火するリスクが



令和3年12月に市内で起きた発火トラブルの様子